

# ACCESS

寒河江市へのアクセス

## 自動車

- **東京方面から**  
**東京(川口JCT)** 約4時間10分  
 東北自動車道+山形自動車道 **寒河江IC**
- **宮城方面から**  
**仙台宮城IC** 約55分  
 東北自動車道+山形自動車道 **寒河江IC**
- **新潟方面から**  
**新潟市** 約3時間5分  
 日本海東北自動車道+国道287・113号 **寒河江IC**

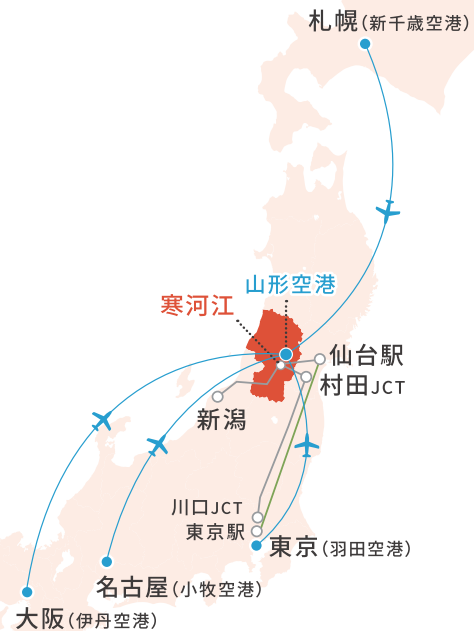
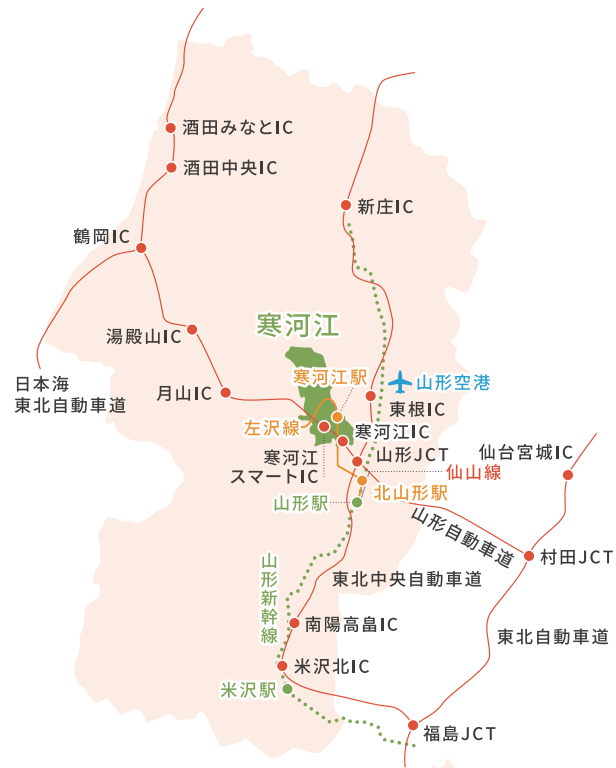
## 電車(JR)

- **東京駅から山形駅経由寒河江駅**  
**東京駅** 新幹線で約2時間45分 **山形駅**  
 山形新幹線  
 電車で約30分 **寒河江駅**  
 左沢線
- **東京駅から仙台駅経由寒河江駅**  
**東京駅** 新幹線で約1時間35分 **仙台駅**  
 東北新幹線  
 電車で約1時間15分 **北山形駅**  
 仙山線  
 電車で約27分 **寒河江駅**  
 左沢線

## 飛行機

- **東京から** 羽田空港 約1時間 **山形空港**
- **大阪から** 伊丹空港 約1時間15分 **山形空港**
- **名古屋から** 小牧空港 約1時間5分 **山形空港**
- **札幌から** 新千歳空港 約1時間5分 **山形空港**
- 山形空港** 約20分 **寒河江駅**  
 空港ライナー(予約制タクシー)

※時間や距離はおおよそのものです。



お問い合わせ 寒河江市 新規就農者支援育成協議会(寒河江市農林課内)  
 991-8601 山形県寒河江市中央一丁目9-45  
 TEL 0237-85-1763 FAX 0237-86-7100  
 MAIL nourin@city.sagae.yamagata.jp



注意事項 パンフレット情報は2025年3月現在の情報です。内容が変更となっている場合がありますので、ご了承ください。  
 発行元:寒河江市 制作日:2025年3月

寒河江でみつける最高の自分(サガエストアグリ)

# SagaEst Agri



## さがえ 山形県 寒河江市

新規就農(移住)ガイドブック



野菜も、果樹も  
寒河江の農業のカタチ

● 寒河江市農業者のリアル（農業経営モデル：就農5年目）

従業員数	栽培作物	売上高
2~3人	2種	500万円

寒河江市での農業は果樹+αの複合経営が主体です。本市の農業経営モデルは【さくらんぼ（果樹）+なす（野菜）】で、この2つの組み合わせにより、収穫時期が5月下旬~7月初旬のさくらんぼと7~10月のなすで継続した収入源の確保ができますようになります。  
また、寒河江市のさくらんぼは、栽培面積、収穫量、農業産出額とも全国トップクラスで主産地として全国的に知られているため、ブランド力も申し分ありません。

就農5年目くらいでどのくらいの売上があるの？

さくらんぼ、なすの生産量・売上・年間収支（モデルケースの場合）

品目	作付面積	生産量	売上	年間収支
 さくらんぼ	35 <sub>a</sub>	1.4t/35 <sub>a</sub>	335万円	売上500万 経費250万
 なす	15 <sub>a</sub>	5.5t/15 <sub>a</sub>	165万円	所得250万

※ 農業機械は、必要最低限の機材として動力噴霧器、管理機（マルチャーセット）、自走式草刈機を所有している前提。

※ 売上は以下のとおりで積算しています。

・さくらんぼ：単価2,400円/kg ・なす：単価300円/kg

労働時間はどれくらいなの？

主たる従事者1人当たりの労働時間

1,823時間/年

独立就農まではどんなステップがあるの？

- 就農相談** 各種就農イベントや就農相談は寒河江市農林課までお問い合わせをしてみよう。
- 農業体験** 寒河江市の街の雰囲気や就農後の生活について調べたり、体験してみよう。
- 就農研修** 経験豊富なベテラン農家の下で、技術や経営についてしっかり学ぼう。
- 就農準備** 経営を成り立たせるために選択した作物で、どれだけの規模でどれだけの売上げをあげていか、機械の導入や諸経費などのバランスを考え就農計画を立てよう。
- 独立就農** ここからが農家としての本当のスタート。日々作物と向き合い、自然や先輩農家から学ぶ姿勢を大切に、1人前を目指してがんばろう！

寒河江のイチオシ作物

 水稲 「はえぬぎ」、「つや姫」、「雪若丸」等が代表品種。機械作業で効率化されているが、機械経費が高く、生産コスト削減とブランド化による販売力の向上が課題。	 桜桃 主力品種は「佐藤錦」、「紅秀峰」、「やまがた紅王」等。高品質生産には雨よけ施設が必須であり、収穫・選別作業を中心に短期的労力確保が必要。	 もも 桃は「早生（わせ）」「中生（なかて）」「晩生（おくて）」と収穫時期の異なる品種が多いため、品種選定や管理作業計画をよく考える必要がある。
 なす 露地栽培で比較的簡単に栽培でき、産直では定番品のため、新規就農者にも取り組みやすい品目。水田転作作物として、山形県内でも広く栽培されている。	 里芋 初心者も安心して栽培が可能であるが、重労働の作業があるため、機械の導入が必要。近年は栽培者の減少と根強い需要により、収益性が向上している。	 つるむらさき 生育旺盛であまり手間がかからない、初心者でも比較的簡単に栽培が可能な野菜。単価が安定しており、収穫期も長く、新規就農者の収入源の確保に最適。

# 01

1人で無理のない農業を追求。  
効率化を重視し、



ふるやま ひろし  
**古山 寛** さん 東京都出身

さくらんぼ、ラ・フランス、りんご、ももを栽培する果樹農家。東京在住時代は食品関係の企業に7年ほど勤務。寒河江市の先輩農家の元で2年間の研修を経て、2022年4月、31歳の年に独立就農を果たす。



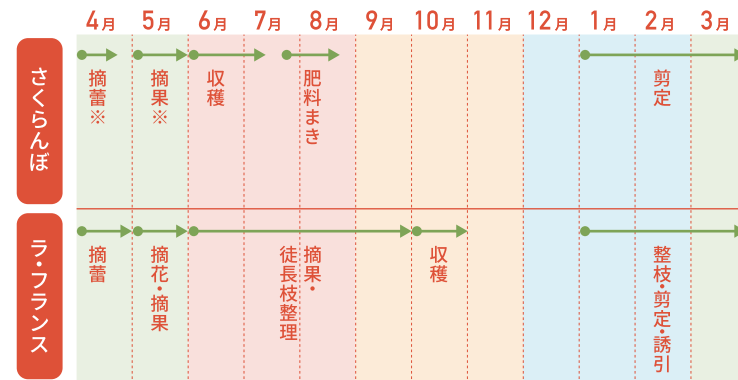
写真1  
さくらんぼのほか複数品目の果樹を栽培。収穫時期をずらすことで、労働力も分散できる

写真2  
「例え社員が向いてなくても、農業はその受け皿になれる」と応援の言葉を贈る古山さん

栽培作物 さくらんぼ、ラ・フランス、りんご、もも

## ●年間スケジュール

※摘蕾(余分なつぼみを取ること)  
※摘果(適度に幼い果実を摘み取ること)



### 「就農のきっかけは？」

もともと祖父母が福島県で農業をやっている、小さい頃は夏休みにお手伝いをしていました。そこから農業に興味を持ち、高校や大学も農業系の学校でした。違う業界に就職しましたが、心の中にはずっと農業への気持ちがあり、7年働いたのち就農に向けて準備を始めました。

### 「寒河江市で農業をしようと思った決め手は？」

「果樹」をやると決め、最初は長野や静岡も候補でした。山形はほぼすべての果樹を栽培できると聞き、年間スケジュールや作業効率を考えると理想的でした。イベントや体験ツアーに参加し、実際に寒河江市へ足を運んで話を聞いたり、作業をお手伝いしたりして、最終的に決めました。

### 「決意から実際に就農するまでで苦労したことは？」

やはり1番は生活費ですね。就農を見越して貯金していましたが、研修期間は切り崩しながらの生活でした。ほかには農地や作業小屋探しにも苦労しましたが、先輩農家のツテをたどって、なんとか見つけることができました。

### 「就農研修について感じたことは？」

私が教わった先輩農家も他県からの新規就農者で境遇が似ていて、すごく助けてもらいました。技術はもちろん、農業の人脈、農地探し、経営についても全部教えていただきました。今も研修で教わった通りに実践していますね。

### 「就農してから感じたこと、苦労したことは？」

果樹は1年1作なので、試行錯誤しても結果がすぐ出てこないというもどかしさはあるのですが、今のところ事業

計画どおりには進んでいます。それもしっかり収量を見込める農地を紹介してくれた先輩農家のおかげでもありますね。

### 「農業の魅力は？」

「自由度」ですね。その日の作業内容、集中して働きたい時、ゆっくり休みたい時、決定権はすべて自分にあります。自然の中で仕事ができるのも気持ちいいです。1人なので精神的に気楽にやれていますね。

### 「地域・周辺農家さんとの付き合いは？」

研修先の先輩農家を中心にネットワークがあり、同世代の農家とも知り合うことができました。定期的に集まりもありますし、畑で会ってよく話しますね。濃すぎず薄すぎず、ほどよい距離感を築けていると思います。

### 「どんな農業を目指している？」

就農者では大きく市場出荷が個人販売かで分かれるのですが、私は市場や農協への出荷をメインとしています。確実に収入を得られるだけでなく、工数を減らし、人件費を抑えることができます。1人農業なので、今後も小規模で効率性を重視した経営を目指していきたいです。

### 「就農検討者へのメッセージ」

農業には不安がつきものですが、考えているだけではダメです。まずはとにかく動くことが大事。先輩農家の岡部さん(本誌7P参照)がよく「アホになれ」と言っています(笑) 私も勢いでやっているところがありますね。安定を求めらばどこかに就職したほうが絶対いい。完璧を求めすぎず、ほどほどにやるという心構えでいいと思います。

# 02

好きなものを育てて、自分らしく楽しい毎日を。

## 就農のきっかけは？

小さい頃から植物が好きでした。高校の農業科を経て就職した種苗会社で、生産しているお客様を接客したり、実際に農家の元へ行ったりするうちに「生産するのがいいな」という気持ちが大きくなっていきました。

## 就農に向けてどんな準備をした？

会社を辞めてから就農するまでの1年間、苗販売も行っている農家の元で働かせてもらいました。私は実家暮らしで補助金※の支給条件に満たなかったため、自分で研修先を探して、給料をいただきながら学ばせていただきました。  
※農業次世代人材投資資金(準備型)。令和3年度当時。現在は「新規就農者育成総合対策事業(就農準備資金)」

## 研修について感じたことは？

研修先は苗屋さんということで、顔がとても広く、紹介ただいてきゅうり農家などいろんなところに行かせてもらいました。収穫や出荷など一連の作業を身をもって経験できたことはとても大きかったです。

## 土地はどうやって見つけた？

地域の農業委員がとても協力的で、今の土地を見つけてくださいました。「最年少」農家ということで、どこに行っても皆さんに優しくしていただいていますね。

## どのくらいの規模？

施設は3棟、露地は20アールあります。主にマルシェや直売所で販売していて、特にアグリランド(市内の産直施設)は売り場面積が大きく、売れ行きがとてもいいです。

## 多肉植物を選んだのはなぜ？

冬の間の収入としてですね。若干趣味の延長でもありますが、

多肉植物は紅葉したり、増やしたり、楽しいことがいっぱいあるんですよ。育つのに2年ほどかかるのですが、今は300種以上になりました。

## 就農してから感じたこと、苦労したことは？

やはりゼロからなので、草刈り機や動噴機※などの大きな機械はもちろん、ハサミひとつから揃えるのは大変でした。また、1人でやっているので人手が足りなくて大変なときもありますが、まだ誰かを雇うというのは怖いですね。  
※動力噴霧器:エンジンなどの動力を用いて液体の農薬を霧状に散布する機械

## 農業の魅力は？

自由なところです。好きなものを育てて、それを買ってくれる人がいて、毎日楽しくやっています。「1人社長」みたいな感じで、考えることも多いですけど、自分の好きなようにできるのがいいところです。

## 寒河江の魅力は？

天災が少ないところでしょうか。ほかの地域と比べると、寒河江は気候がいいと思います。私が就農したここ数年は、冬も雪が少なかったです。農業人口も多いので助け合いながら農業がしやすい街だと思います。

## 今後の栽培目標は？

たくさんの品種を育てているので少し絞ってこうと思っています。面積はあまり変えずに、収穫が空いている期間がないようにスケジュールを組んでいきたいです。

## 就農検討者へのメッセージ

私は「今動かないとすぐ10年、20年と経ってしまうんだろな」と思い、進んでいきました。「農業をやろう」と思ったときに、行動に移して積極的にチャレンジすることが大事だと思います。



さとう あみ  
佐藤 愛海さん 寒河江市出身

2023年2月に就農した地元出身の期待の若手農家。高校時代に農業を学び、種苗会社へ4年ほど勤めたのち、独立。現在は多肉植物のほか、きゅうりやなす、ブロッコリーなどの野菜を栽培している。

写真1

複数の多肉植物をぎゅっと集めて「寄せ植え」。見た目の可愛さは佐藤さんの腕の見せ所

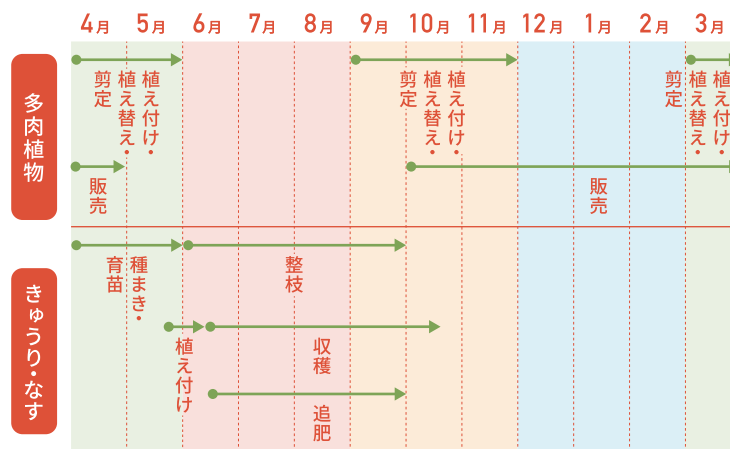
写真2

YouTubeやネットから勉強することも多いと言いつ、令和世代ならではの農業で可能性は無限大

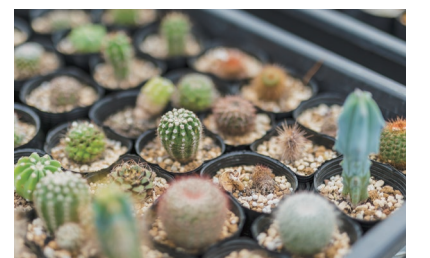
写真3

野菜は少量多品目で栽培。収穫期や忙しい時は家族に助けをもらいながら、乗り越えている

## 年間スケジュール



栽培作物  
多肉植物、きゅうり、なす、ブロッコリーなど



# 03

## 「寒河江には仲間がいる」

### 10年目の今伝えたい農家の心構え。

写真1  
今後の夢は「家族で農業体験ができる場所を創ること」。宿泊施設や遊び場など想像が膨らむ

写真2  
品評会で最優秀賞を受賞した岡部さんの「紅秀峰」。贈答品としても人気で、百貨店での販売も



おかべ ようすけ  
岡部 洋介 さん 千葉県出身  
ゆうこ  
岡部 優子 さん 寒河江市出身

元社員の洋介さんと元美容師の優子さんは首都圏で出会い、結婚。2013年に寒河江市へ移住し、2年間の研修を経て夫婦で独立就農を果たす。2021年・2023年にはさくらんぼで最高位の県知事賞に。

#### 就農のきっかけは？

**洋介さん** 妻が寒河江出身で、遊びにくる度に田んぼや果樹園を見て、「自然に携わる仕事はいいな」と思い始めました。本当は炭焼き職人や猟師になりたかったのですが、まずは生計を維持するために農業を選んだ感じですね。

**優子さん** 最初から賛成していたわけではないのですが、夫には自然と向き合う仕事合っているなど感じていました。農業するのであれば、野菜も果樹も何でも作れる山形しかないなど。それで地元に戻ってきました。

#### 研修について感じたことは？

**洋介さん** 実は何度か逃げたいと思ったことがありました…。というのも、農家ならではの独特の方言が分からずコミュニケーションが取れないことに加えて、当時は体力的にも相当きつかったんです。でも10年経った今、あのとき叩き込まれた「農家精神論」が身に染みてよくわかるようになり、ありがたく思えるようになりました。

#### 土地はどうやって見つけた？

**洋介さん** 研修先の農家の紹介で、「引退農家の経営移譲」という形で、機械なども含めてそっくりそのまま引き継ぐことができました。非農家出身の新規就農者としては初期投資がほとんどかからず、滑り出しも順調でした。

**優子さん** でもそれ以上にプレッシャーは半端なかったですね。農業経営がまるまる私たち新米農家に渡り、経営を維持するために常にトップギアで走っていました。無我夢中でした。

#### 現在の販売先は？

**洋介さん** 市場と農協に加えて、業者や個人贈答で売り先を分散させています。個人贈答はネットショップではなく、友人や親戚から始めてどんどん口コミが広まった感じです。また卸業者から直接ご指名いただいて某有名ホテルに卸されていたり、行政案件もいただいていますね。

#### スタッフの体制は？

**優子さん** 私たち夫婦のほか正社員が1名いて、収穫の最盛期にはパートの方にもお願いしています。人材の雇用は当然不安もありましたが、私の妊娠・産休もあり、思い切って正社員で来てもらいました。パート探しも今はアプリがあるので人材を確保しやすくなっていますが長年お付き合いして下さるパートさんは本当にありがたい、大切な存在です。

#### 農業の魅力は？

**優子さん** うちの子供はアレルギー持ちなので、野菜中心の生活を送っていて、「この野菜で生きているんだ」と強

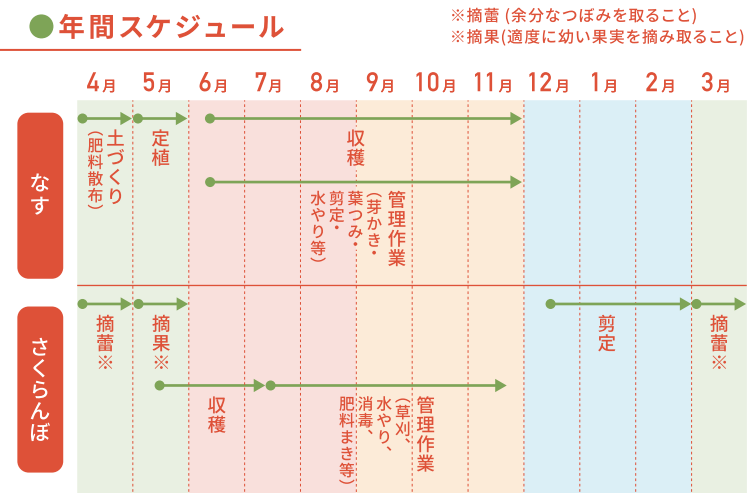
く思うようになりました。例えばスーパーから何もなくなったとしても、種を植えて育てる技術を持っているわけで、この子たちをずっと守っていけるという思いがあります。

#### 就農検討者へのメッセージ

**洋介さん** 私は10年目にして大きな失敗をしました。加温さくらんぼの暖房代を100万以上かけたのにまったく実

がならず…どんなに頑張っても自然にかなわないこともあります。昔は絶望して笑えなかったことも、今は「どうにかなる、生きていけばいいや!」と思えるんです。私がある心境になるまで時間はかかりましたが、新しく志す人には、同じ境遇の仲間がたくさんいるということ伝えたい。悩みを共有し合えるし、一人で抱え込むことはありません。

#### 年間スケジュール



栽培作物  
なす、さくらんぼ、  
小松菜、ブロッコリー





清流・寒河江川

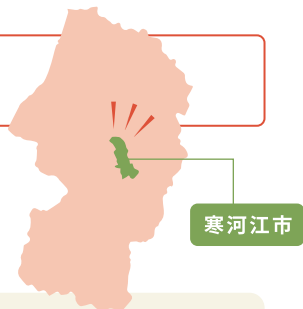
寒河江公園つつじ園

黄金色に輝く稲穂

雪化粧の市街地と葉山

## 寒河江市ってどんなところ？

寒河江でみつける最高の自分「サガエスト。」本当に豊かな人生って何でしょうか？ありのままに、自分らしい暮らしができること。心から笑いあえる仲間がいること。やりたい仕事や趣味を思いっきりできること。多くの方がここ寒河江市で、そんな夢のある暮らしを実現しています。



寒河江市

**面積** 139.03 km<sup>2</sup> **人口** 39,132人 **世帯数** 14,056世帯  
(2025年1月1日現在)

## 寒河江市の名所・名物



ほんざんじおんじ  
本山慈恩寺

千年超の歴史を誇る東北随一の古刹慈恩寺。かつては3カ院48坊からなる巨大寺院で周辺一帯が国指定史跡。境内には、本堂(国重文)、三重塔などが厳かに建ち並びます。



さくらんぼ

寒河江生まれの品種「紅秀峰(べにしゅうほう)」をはじめとする、さくらんぼの生産が盛ん。お裾分けでたくさんいただくのが、寒河江あるあるのひとつ。



寒河江祭り  
「神輿の祭典」

毎年9月、800年以上の歴史を持つ寒河江八幡宮の例大祭に合わせて開催。中でもフィナーレを飾る神輿の祭典は東北最大規模!大勢の担ぎ手が寒河江の夜を粋に盛り上げます。



寒河江やきとり

やきとりなのに鶏肉じゃない!豚モツ中心のやきとりに「豚足」、豚・牛モツを根菜類とじっくり煮込んだみそ味の「煮込み」など、多くの市民に愛されてきた寒河江市が誇るB級グルメ。

## 寒河江市の生活情報

### 車



自家用車での移動がメイン。1人1台あると買い物や子ども送迎などにもとても便利!

### 交通



JRや高速道路が走りアクセス良好!路線バスもあり、市内・市外への移動もラクラク!

### 冬



冬は積雪があり、雪かきが必要。でも、寒い冬だからこそ、自然を活かした楽しさがいっぱい!

### 自然



最上川や寒河江川、葉山といった雄大な自然が市街地を囲み、日々の生活を彩ります!

### 子育て



待機児童数ゼロ!病児・病後児保育施設があり、お仕事も安心!

### 温泉



日帰り温泉が充実!リーズナブルで利用しやすく、日頃の疲れを癒してくれます。

### 食



豊かな自然に育まれた農作物が魅力!採れたての新鮮な農産物が並ぶ産直もあります。

### アウトドア



大型遊具のある公園やキャンプ場など、家族でアウトドアを楽しむスポットがたくさん!

## 寒河江市の気候・暮らし

山形県のほぼ中央に位置する寒河江市。最上川、寒河江川が流れ、出羽三山で有名な月山や朝日連峰、奥羽山脈などの山々に囲まれており、豊かな自然環境に恵まれています。

車で山形空港や山形駅へ約30分、仙台へ約1時間程と交通アクセスも良く、生活に必要なものがコンパクトに揃い、利便性も兼ね備えています。

**平均気温** 山形県森林研究研修センター気象観測データより

春 11.0℃ 夏 28.3℃ 秋 13.9℃ 冬 -0.9℃

**月別降水量** 平成29年度データ



**月別積雪量** 平成29年度データ

